

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		下水浄化センター改築事業						予算事業名		公共下水道建設事業費					
予 算 科 目		会計	11	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				01	02	01	2001	経常経費							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業					
		2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理)													
		④生活排水の適正な処理						担当課係等		下水道課					
		3下水浄化センターの改築								工務係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
浄化センターの計画的な施設設備更新による安定かつ適正な運転								H18に改築更新10ヵ年計画を策定、その後H23に長寿命化計画を策定し、補助事業として改築更新工事を実施している。(計画策定が補助要件)							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
汚水の適正処理の推進及び効率化のために、機械・施設の長寿命化改築更新を行う。 処理場、ポンプ場、管渠を総合的に管理保全するためのストックマネジメント計画を策定する。								下水浄化センター							
								【事業をとりまく環境の変化】 昭和53年の供用開始から40年近く経過し、施設の老朽化が激しくなっている。							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】							
・ストックマネジメント計画策定															

■事業費

		H30年度		R01年度				
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	82,000		69,060				
	県 支 出 金	0		0				
	地 方 債	56,000		149,200				
	そ の 他	13,539		7,115				
	一 般 財 源	12,461		125				
歳 入 計 (千 円)		164,000		225,500				
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)			
	13 委託料		164,000		137,100			
	15 工事請負費		0		88,400			
歳 出 計 (千 円) (A)		164,000		225,500				
伸 び 率 (%)				37.50				
備 考	総合計画 91ページ 予算書 336ページ							

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	汚水処理量(日平均)	m3/日	目標	13,414.00	13,414.00	13,414.00
			実績	11,178.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	施設の老朽化により、ますます必要性は高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	下水道法第3条により、行政以外には実施出来ない事業である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	長寿命化計画及び耐震計画のスケジュールに基づき効率的に実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画どおり、順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
下水浄化センターの老朽化に対応するため、長寿命化計画及び耐震事業計画に基づき計画的に設備の改築更新を進めることが出来た。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
長寿命化計画書及び耐震事業計画に基づき、財源の確保に努めながら、施設の状況を常に把握して、効率的に事業を進めていく。 また、今後は長寿命化計画をポンプ場、管渠も含めたストックマネジメント計画に移行する必要がある。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 下水浄化センターは、供用開始から40年が経過し、主要部分の老朽化や機器等の劣化が進んでいる。今後も公共用水域の水質保全を図るため、処理機能を維持することは必要不可欠であり、コスト削減・成果向上を図るとともに、計画的な事業継続が必要である。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。